

## 化学物質の適切な管理

グリーン規定に従い化学物質を適正に管理していきます。

荒川化学では、化学物質の適切な管理をおこなうための化学物質管理基準を定め、人や環境への高い毒性を有する化学物質を「使用禁止化学物質」として指定し、原材料および製品に含有することを禁止しています。人や環境への汚染の恐れがある化学物質については「管理化学物質」として指定し、原材料および製品における含有量を明確にして管理しています。

また、新規化学物質についても製品の設計開発段階から把握できるようにして、その危険有害性の把握と化審法などの法規制への対応が確実にこなえるようにしています。

## 設計開発からの化学物質管理

製品の設計開発段階では、顧客から要求される品質の実現ばかりでなく安全性、環境に配慮することを確実にするためのチェックポイント集を用いて設計をおこなうようにしています。

製品を研究試作する段階では含有する化学物質を明確にし、危険有害性や法規制からどのような対応が必要となるかの評価を、当社独自のツールである製品評価リストによりおこなっています。

また、パイロットプラントでの試作製造、工場での量産に至る各段階でも評価を実施し、化学物質管理を確実にこなえるようにしています。

### 設計開発からの化学物質管理の仕組み



## 海外の関連法規制

グローバルな事業展開を進める中で、化学物質管理についても海外の関連法規制に対応したものにしています。EUのRoHS指令指定物質、REACHで特定された高懸念物質(SVHC)の管理や、急速に法整備が進むアジア各国への対応も進めています。

## 教育、情報共有

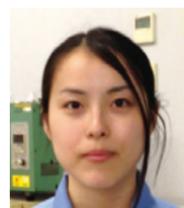
製品の設計開発段階からの化学物質管理のための研究員への教育として、法規制についての集合教育や製品評価リストでの製品安全性評価や安全データシート(SDS)の作成を実施するための実践セミナーをおこなっています。

また、国内外の化学物質管理に関する動向などについては、化学物質管理連絡会を定期的に開催し、荒川化学グループとして情報共有をおこなっています。



製品評価リスト、SDS作成の実践セミナー

## Voice



化成事業部  
研究開発部  
金子 光耶子

### できるかぎり環境負荷の低い設計開発を

化学物質管理のために、新しく開発した製品は「製品評価リスト」を作成して法規制の確認や危険有害性の評価を実施しています。

新製品の設計開発では、危険有害性のある物質の使用をできるだけ避けていますが、例えば有機溶剤を使用すれば簡単に溶解する物質も、水系には溶けにくく使用できないなど、環境負荷低減と性能を両立させるには、難しさを感じることもあります。

このような問題を一つひとつクリアして製品を完成させることで、地球環境に配慮した企業活動の実現を担っていきたく考えています。

## 化学製品の情報提供

世界的基準であるGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)に基づき、製品としての危険有害性の伝達をラベルや安全データシート(SDS)によりおこなっています。

アジア各国でもGHS対応の法整備が進められており、中国語版に加えて、韓国語版でのラベル、SDSの提供が可能な体制を整えました。

また、製品輸送時の万一の事故に備えて、緊急連絡カード(イエローカード)をタンクローリーの運転手に携行させています。運送会社への教育をおこなうとともに、運転手に携行の徹底を図っています。

安全データシート (日本語版)

(中国語版)

(韓国語版)

製品ラベル(日本語版)

(中国語版)

(韓国語版)

イエローカード(表)

## 荒川化学グループPRTR対象物質の排出・移動量

2012年度のPRTR該当物質の排出量は2011年度より若干増加し、移動量は減少しました。目標(2007年度比)は十分達成しました。

### 荒川化学グループPRTR該当物質の排出・移動量

PRTR対象物質	排出量			移動量		
	2010年度	2011年度	2012年度	2010年度	2011年度	2012年度
トルエン	5,428	4,321	4,513	88,808	33,890	19,415
エチルベンゼン	1,905	1,306	1,359	49,832	96,267	57,479
キシレン	1,908	1,306	1,374	49,832	96,267	57,479
ダイオキシン類	0.00014	0.039	0.027	0.60	1.30	3.81
その他*	580	491	500	19,386	27,021	5,830
合計	9,821	7,424	7,746	207,859	253,446	140,203

\*その他：アクリロニトリル、トリエチルアミン、エピクロロヒドリン、スチレンなど60品種

### 【今後の対応】

継続して排出量を監視していき、該当物質の使用量の抑制や環境対応設備の新設などにより環境への排出を減らしていくよう努力を続けます。

単位：kg (ただし、ダイオキシン類のみmg-TEQ)